

ほんの森

図書館 ☎84-3311



図書館休館日
12月5日(火)・毎週月曜日

クリスマス映画会

『ポーラー・エクスプレス』

●日 時 12月24日(日)
午前10時
午後2時

●上映時間 100分

●場 所 2階ハイビジョン
ホール

●定 員 各回120名

●入 場 整理券(無料)を12月9日(土)から
配布します。ご希望の方は図書館
カウンターまでお越しください。



金曜映画会

『ホーム・スイートホーム』

●日 時 12月22日(金)
午後2時から

●場 所 2階ハイビジョン
ホール

●定 員 先着100名
※整理券は不要です



図書館ギャラリー

『ガゼット・ド・ボントン展』

12月17日(日)まで

文芸

◆俳句

写メールで送らる京の秋景色
浅野 茂子

秋深む風と潜りし寺の門
池田 逸子

雨戸打つ風のいつしか秋の声
伊藤 敬子

洗い髪背中にまつわる夜寒かな
今関満喜子

きゅつと剥く葱白々と香を放ち
江森 悦子

秋澄む日男子誕生万々歳
大谷 武彦

むくろじのころがる音や寺の磴
川島 孝夫

温暖化肌で感ずる文化の日
桑名 大行

湯煙や秋色深し鄙の宿
向後 寛

夕花野ひきもきらずに航空路
越川せつ子

天高し同行二人赤リユック
佐瀬 輝夫

秋霖や無人の聖堂昼灯
宍倉 道子

鐘の音をのせて散り来る柿落葉
玉虫 栗扇

川の潤そぞろ歩きや初紅葉
福田 幸子

絡み根にどんぐり落ちるまた
布施 和代

あの橋を渡ったところ新蕎麦屋
丸山 照美

山脈や信濃小春の蕎麦の味
村上 淳

弥勒佛秋思の指を頬にあて
山口 一秋

礁打つ大濤小波冬の海
渡部 和秋

わが里の大方の家に植ゑられし
木犀香り秋も深まる

永藤 滋

池田 春江

押尾 輝子

朝露の天安門の薨みな
梶子色の光りを放つ

西山満里子

心臓の断層撮影の結果聞かむと
写真を前にじっと待ちあつ

吉岡 信子

島影に似る群雲を十六夜の
月の光が照らしるなり
八角 三枝

美しき大正琴の合奏を
窓に寄りゆき聞きほれるたり
平山 芳子

夕つ日は上総の丘を朱に染め
光り放ちて沈みゆくなり
佐瀬 初音

舅姑の逝きて八年を過ぎたるも
義兄は新米届けくれます
芹川 初子

細き茎曲げたるままにコスモスは
花咲かせるつ風にゆれつつ
長谷川正子

初めての給料に娘が買ひくれし
折畳み傘今でも使ふ
田崎 尚美

夫の里富山より届きしずわい蟹
紅き甲羅に海の浮かびく
島田ますみ

靴底のかそけき音に歩を止めぬ
樟の落ち実を吾が踏みこしと
斎藤つね子

手際良く行業者刈り取る雑草
根残しままに視野広がれり
安田 和子

早々と北の国から雪便り
長く厳しき冬せまりくる
高梨 キヨ

